

<参考資料①> 江別市観光振興計画の振り返り

江別市観光振興計画における取組

<参考資料>

江別市観光振興計画における取組

現計画の構成と施策一覧

現計画の構成

観光像実現に向けた3つの基本方針を設定

- 現計画では、「準備をして遠出をする従来型観光ではなく、日常の延長線上にあって、気軽にふらっと楽しめる」ことを目指した観光像を設定しています。
- この観光像を実現するために、3つの基本方針及び、それに基づく具体的な施策を設定しています。



出典) 江別市「江別市観光振興計画」より作成

現計画の施策一覧

基本方針に基づいた16個の施策を設定

- 3つの基本方針に基づく16個の施策は、実際の実施内容を取りまとめる形で設定されています。

基本方針	施策名
1. 観光資源を生かした魅力づくり	(1)食の魅力体験プログラムの充実
	(2)歴史のまち・再発見プロジェクトの推進
	(3)観光資源の磨き上げと発掘
	(4)イベントの充実
	(5)道の駅による観光振興の可能性の検討
	(6)グリーンツーリズムの推進
	(7)四季の魅力の有効活用
	(8)観光パッケージ商品の開発
2. 魅力を伝える観光プロモーション	(9)マスメディアやインターネットの活用
	(10)PRツールの活用・関係団体等との連携による情報発信の拡充
	(11)江別の「食」と「農」の魅力発信
	(12)広域団体や近隣市町村との連携
3. 市民や事業者が実感する観光まちづくり	(13)市民が観光と向き合う機会の創出
	(14)観光人材の育成
	(15)環境整備の推進
	(16)二次交通の整備

＜参考資料＞

江別市観光振興計画における取組

基本方針1 施策の実施状況(1/2)

基本方針1 「観光資源を生かした魅力づくり」に基づく施策の実施状況

施策名	取組名	取組の概要	実施場所	参加者数等	令和年度
(1)食の魅力体験プログラムの充実	肉フェスの開催	江別豚(えべとん)などのお肉やソーセージでBBQを実施	アースドリーム角山農場	—	5年度
	江別スイーツの魅力発信	「えべつ パン&スイーツ スタンプラリー」(参加店舗を巡ってスタンプを集めて応募することで、抽選で市の特産品や宿泊券が当たるイベント)を実施	パン屋ニレカゼ等	39店舗	2年度
(2)歴史のまち・再発見プロジェクトの推進	地域活性化の検討・支援	かわまちづくり計画による歴史性を活かした新たな条丁目地区の観光・まちづくりの可能性の検討及びイベント開催支援(エキテラ・風街夏祭り)	江別駅周辺	—	2~4年度
(3)観光資源の磨き上げと発掘	文化財の活用	歴史的価値を持つ市所有施設の観光資源としての活用及び活用可能性の検討(北海道林木育種場旧庁舎、旧町村農場、旧岡田倉庫)	—	—	—
(4)イベントの充実	えべつマルシェの開催	えべつ観光協会に所属する店舗や企業、学生、行政が一体となってイベントを考案し実施	アースドリーム角山農場、 とわの森三愛高校臨外運動用地等	21,367名 (第1~4回計)	4年度
(5)道の駅による観光振興の可能性の検討	—	情報収集等	—	—	—
(6)グリーンツーリズムの推進	都市と農村交流の支援	江別産農畜産物の地産地消や、生産者と消費者との交流を支援。また、市内だけでなく近隣にも江別の農畜産物のファンが拡大することを目指し、積極的にPR	—	—	元~ 3年度

＜参考資料＞

江別市観光振興計画における取組

基本方針1 施策の実施状況(2/2)

基本方針1 「観光資源を生かした魅力づくり」に基づく施策の実施状況

施策名	取組名	取組の概要	実施場所	参加者数等	令和年度
(7)四季の魅力の有効活用	サイクル ツーリズムの 推進	サイクルイベントを実施(初心者向けの短距離コース)	酪農学園大学、EBRI等	10名	元年度
		サイクルイベントを実施(中級以上向けの長距離コース)	江別蔦屋書店、食祭等	14名	
		えべつサイクリングMAPの作成	2コースを作成し、市HPに掲載	—	
		江別サイクルツーリズムセミナーの開催	市民会館(オンライン併用)	会場来場者14名 (オンライン申込者 数40名)	2年度
(8)観光パッケージ商品の開発	日帰り周遊 観光の推進	モニターバスツアーの実施(親子で学ぶ・楽しむ！朝どれ野菜モニターツアー)	市内農場等	12名 (市外在住者)	※平成 30年度
		江別市内を1日乗り放題の周遊バスを運行	バス5台が市内観光施設等 9か所を循環	236名	元年度
		江別出身タレントを起用した観光動画の作成	ホテルリポーン、ノースライブコーヒー、トンデンファーム、 町村農場、EBRI、セラミックアートセンター、なの花	—	2年度
		冬の江別市PR動画を作成	アースドリーム、セラミックアートセンター、江別 蔦屋 書店、北海道博物館、野幌森林公園等	—	
		夏の江別市PR動画を作成	芝木農園、アースドリーム、セラミックアートセンター、 EBRI、えべつ花火、森林キャンプ場等	—	3年度
		コープトラベル共催の日帰りバスツアー「えベコレツアー」を開催	アンビシャスファーム、町村農場ミルクガーデン、EBRI 等	30名	
	江別蔦屋書店、林木育種場旧庁舎、トンデン ファーム、EBRI等	34名	4年度		

＜参考資料＞

江別市観光振興計画における取組

基本方針2 施策の実施状況(1/3)

基本方針2 「魅力を伝える観光プロモーション」 に基づく施策の実施状況

施策名	取組名	取組の概要	実施場所	参加者数等	令和年度
(9)マスメディアやインターネットの活用	SNSの活用	TwitterやInstagram等のSNSを活用した広報活動 (市観光振興課、地域おこし協力隊、えべつ観光協会)	—	—	—
(10)PRツールの活用・関係団体等との連携による情報発信の拡充	プロモーションイベントの開催	江別市とホテルオークラ札幌「江別フェア」 (ホテルオークラ札幌で、江別産の特別メニューが提供される食のイベント)のPR	大通BISSE	パンフレット等 約170セット配布	元年度
		江別フェア(各店が江別産食材を使ったメニューを提供するイベント)の開催	大通BISSE	事業者6社、 店舗6件	3年度
	江別市リアル謎解きゲームの実施	市内を徒歩または車で周遊し、クイズを解くイベント (応募用紙にクイズの答えを記入し、正答数に応じて江別の豪華特産品が当たる抽選も実施)	市内各所と北海道博物館	38社・4施設 2,542名	元年度
			市内各所	35社・2施設 2,420名	2年度
			市内各所	2,942名(1,460 名が抽選に応募)	3年度
			市内各所	3,856名(1,734 名が抽選に応募)	4年度

＜参考資料＞

江別市観光振興計画における取組

基本方針2 施策の実施状況(2/3)

基本方針2 「魅力を伝える観光プロモーション」 に基づく施策の実施状況

施策名	取組名	取組の概要	実施場所	参加者数等	令和年度	
(10)PRツールの活用・関係団体等との連携による情報発信の拡充	江別市観光絵地図の作成	イラストマップの作成(令和5年度にデジタル版を作成)	市内外の観光関連施設等で配布	10,000部発行	元年度	
					2年度	
					3年度	
				11,000部発行	4年度	
				7,000部発行	5年度	
	食に関するリーフレットの作成	地域おこし協力隊による食に関するリーフレット等の作成(カフェ・スイーツ・おやつ・キャンプ飯等)	—	—	—	
(11)江別の「食」と「農」の魅力発信	産業連携新商品開発支援補助金の交付	江別産農畜産物やその加工品を活用した新商品等の開発支援	—	申請4件	元年度	
					2年度	
					3年度	
	プロモーションイベントの開催	パンや特産品販売のほか、オリジナルトートバッグ作りワークショップや、トークショーを実施	マルヤマクラス、紀伊国屋書店 札幌本店、三井アウトレットパーク札幌北広島、アリオ札幌	—	—	※平成30年度
						三井アウトレットパーク札幌北広島
プロモーションイベントの開催	パンや特産品販売のほか、パンのお皿作り体験ワークショップや、トークショーを実施	江別 蔦屋書店	—	12社 約530名	2年度	
					江別PR及び特産品の販売	白い恋人パーク
プロモーションイベントの開催	「美味しい江別」(市の名産・特産・スイーツ等、約40事業者が出品するイベント)を実施	EBRI	—	—	4年度	

＜参考資料＞

江別市観光振興計画における取組

基本方針2 施策の実施状況(3/3)

基本方針2 「魅力を伝える観光プロモーション」 に基づく施策の実施状況

施策名	取組名	取組の概要	実施場所	参加者数等	令和年度
(12)広域団体や近隣市町村との連携	協議会や事業への参画	さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業への参画(広域圏HP等による市PR、海外インフルエンサーの招致ほか)	—	—	元年度から
		オール北海道ボールパーク連携協議会への参画(自転車周遊イベント)	—	—	4年度から
	こどもパスポートの作成	江別市を含む近隣市町村向けの子ども向けスポットを紹介するクーポン付きの冊子を発行し、江別の地域資源を発掘し、魅力を発信	江別市・当別町・石狩市・新篠津村・月形町・岩見沢市・三笠市・長沼町・南幌町・由仁町・北広島市・浦臼町	—	2年度から

＜参考資料＞

江別市観光振興計画における取組

基本方針3 施策の実施状況(1/2)

基本方針3 「市民や事業者が実感する観光まちづくり」に基づく施策の実施状況

施策名	取組名	取組の概要	実施場所	参加者数等	令和年度
(13)市民が観光と向き合う機会の創出	市民・事業者向け観光セミナーの開催	「江別の観光をみんなで考えよう！」(観光のトレンド、江別の現状を知り、江別市の魅力を再発見するセミナー)を開催	市民会館	58名	※平成30年度
		お土産品開発のワークショップを開催	江別蔦屋書店	22名	元年度
		「街を着替えさせる」(有名講師による講演と江別ならではの魅力を議論するワークショップ)を開催	中央公民館(オンライン併用)	申込者61名	3年度
		「えべつ観光セミナー2023 観光新時代へ」(行政、大学職員が江別周辺のローカルビジネスの創造と連携を考えるセミナー)を開催	酪農学園大学(黒澤記念講堂)	113名	4年度
(14)観光人材の育成	観光セミナーの開催	江別産農産物に対する知見を深めるセミナーを開催	セレモニーホールはやし	24名	元年度
		企業とのコラボレーション手法を学ぶセミナーを開催	市民会館	41名	
		コロナに負けないビジネスモデルを学ぶセミナーを開催	オンライン	申込者47名	2年度
		「えべつローカルビジネス最前線」(江別のワーキングビジネスの可能性、観光価値を考えるセミナー)を2日開催	林木育種場旧庁舎	申込者 第1回:21名 第2回:22名	4年度
	人材の育成	「消費者をワクワクさせる特産品PR講座」を開催	勤労者研修センター	24名	※平成30年度
		プレイングマネージャー養成講座(全5回)を実施	野幌公民館等	延べ157名	4年度
		ワーキングプロジェクトコンペ(観光協会ワーキンググループやえべつマルシェで検討・実践してきた活動内容を発表するコンペ)を実施	酪農学園大学(黒澤記念講堂)	10団体	4年度

＜参考資料＞

江別市観光振興計画における取組

基本方針3 施策の実施状況(2/2)

基本方針3 「市民や事業者が実感する観光まちづくり」に基づく施策の実施状況

施策名	取組名	取組の概要	実施場所	参加者数等	令和年度
(15)環境整備の推進	—	情報収集等	—	—	—
(16)二次交通の整備	サイクル ツーリズムの 推進	レンタサイクルの試行	市民交流施設ぷらっと	利用者延べ97名 (実人数84名)	3年度
		レンタサイクル事業		利用者延べ171名 (実人数146名)	4年度

江別市観光振興計画の評価

＜参考資料＞ 江別市観光振興計画の評価

現計画の評価(1/2)

現計画の施策実施状況

各施策の実施率は高い

- 基本方針1の(5)道の駅による観光振興の可能性の検討、および、基本方針3の(15)環境整備の推進は情報収集に留まりますが、その他の施策は概ね実施されています。

基本方針	施策名
1.観光資源を生かした魅力づくり	(1)食の魅力体験プログラムの充実
	(2)歴史のまち・再発見プロジェクトの推進
	(3)観光資源の磨き上げと発掘
	(4)イベントの充実
	(5)道の駅による観光振興の可能性の検討
	(6)グリーンツーリズムの推進
	(7)四季の魅力の有効活用
	(8)観光パッケージ商品の開発
2.魅力を伝える観光プロモーション	(9)マスメディアやインターネットの活用
	(10)PRツールの活用・関係団体等との連携による情報発信の拡充
	(11)江別の「食」と「農」の魅力発信
	(12)広域団体や近隣市町村との連携
3.市民や事業者が実感する観光まちづくり	(13)市民が観光と向き合う機会の創出
	(14)観光人材の育成
	(15)環境整備の推進
	(16)二次交通の整備



現計画の成果

江別型観光の定義と基礎構築

「日常の延長線上にあって、気軽にふらっと楽しめる」という江別型観光を打ち出し、その基礎となる取組を構築しました

観光資源の位置づけと活用

「食と農」や「レンガと歴史」といった、江別市の観光資源を明確化し、資源を活かした取組を実施しました

計画期間内の継続的な取組実施

コロナ禍においても、オンラインの活用や人混みを避ける工夫をしながら、計画年度すべてにわたり途切れることなく取組を実施しました

新たな取組の試行

計画内で新たに着手した取組も多く、次期計画やコロナ禍後の観光需要を取り込む土台を構築しました

<参考資料> 江別市観光振興計画の評価

現計画の評価(2/2)

現計画の問題点

次期計画への課題

計画策定の目的と意義を再確認し、課題は次期計画の骨子に反映

- 現計画では、計画そのものの周知徹底や目標設定の明確化等が課題として表出したため、次期計画ではこうした課題に取り組みつつ骨子を作成する必要があります。

計画の周知が不足している

計画の策定目的を明確にし、産学官民への公開と共有を徹底することにより、計画に沿った地域一体的な動きを促進する必要があります

基本方針や施策間の繋がりが見づらい

基本方針や施策間の関連性を明確にし、取組の重複や乱立を避けることで、効率的かつ効果的に各施策を実施する必要があります

基本方針ごとに施策が偏っている

現計画では、3つの基本方針のうちの1つに施策が集中しているため、各施策の優先度の確認や、他の方針や施策との住み分けを明確にする必要があります

施策のターゲットが不明確である

各施策の目的を明確にし、それぞれが訴求するターゲット層を設定することにより、取組内容の一層の具体化と実効力の向上を図る必要があります

施策ごとの目標設定と成果の定点観測が不足している

各施策の達成すべき具体的な目標値や目標像を設定し、その経過や最終実績を定点観測することで、計画の達成状況を客観的に把握する必要があります